

2025年2月14日

各位

会社名 日東工器株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小形 明誠
 (コード番号 6151 東証プライム)
 問合せ責任者 常務執行役員 IR担当 野口 浩臣
 (TEL 03-3755-9970)

2025年3月期第3四半期 決算補足資料

第3四半期決算ハイライト

足元の業績および引き合いが堅調なことから、通期業績予想は変更なし

売上高、営業利益ともに前年同期比では減少したが、直前四半期比では同水準。
 (売上高0.1%増、営業利益2.1%増)

国内は、機械工具事業とリニア駆動ポンプ事業の需要が弱く売上減。主力である迅速流体継手事業は産業機械向けの回復が遅れているものの、半導体製造装置向けの回復基調が続くことが見込まれる。

海外は、欧州のリニア駆動ポンプ事業が回復傾向だが、米国での需要減少の影響を受け売上減。

売上原価率の低下は、新工場の建設に伴い在庫を意図的に増やしているためです。

	24/3期3Q		25/3期3Q		前年同期比	(ご参考24/5/9公表)	
	率		率			本決算 予想値	達成率
(単位：百万円)							
売上高	20,607		20,307		-1.5%	28,240	72%
売上原価	11,232	54.5%	10,930	53.8%	-2.7%		
売上総利益	9,375	45.5%	9,377	46.2%	0.0%		
販売管理費	7,256	35.2%	7,313	36.0%	0.8%		
営業利益	2,118	10.3%	2,063	10.2%	-2.6%	3,060	67%
経常利益	2,299	11.2%	2,188	10.8%	-4.8%	3,160	69%
特別損失	-	-	107	0.5%	-		
親会社に帰属する 四半期純利益	1,625	7.9%	1,449	7.1%	-10.8%	2,220	65%

事業別業績

主力の迅速流体継手は半導体製造装置向けが回復基調 リニア駆動ポンプ、建築機器は黒字に改善

迅速流体継手

産業機械向け製品と中国向けの需要減少。一方で半導体製造装置向けが回復基調にあり前年同期比で売上は増加傾向。

機械工具

主に国内と米州の売上減。ただし国内は期末に向けて販促活動が活発化することにより、4Qでの売上増を見込む。

リニア駆動ポンプ

欧州でのプロワの在庫調整が解消傾向。一方、米州における医療機器向けポンプと国内の組み込み用ポンプの需要が回復していない。

利益については、原価率の低下により前年同期比で黒字に改善。

建築機器

2Q（7-9月）に続き堅調に推移しており、欧米で好調。

利益については、前年同期比で黒字に改善。

(単位：百万円)	24/3期3Q	25/3期3Q	前年同期比
売上高			
迅速流体継手	8,901	8,914	0.2%
機械工具	6,649	6,399	-3.8%
リニア駆動ポンプ	3,395	3,252	-4.2%
建築機器	1,661	1,739	4.7%
セグメント利益			
迅速流体継手	1,823	1,574	-13.6%
機械工具	443	418	-5.5%
リニア駆動ポンプ	-124	33	黒転
建築機器	-23	36	黒転

通期業績予想

業績予想は期初（2024/5/9公表）から変更なし。

(単位：百万円)	25/3期通期	前期比
売上高	28,240	4.3%
営業利益	3,060	14.2%
経常利益	3,160	12.0%
親会社に帰属する 当期純利益	2,220	20.6%

以上

IRサイト



当社HPのIRサイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.nitto-kohki.co.jp/ir/>